

# 藤沢市新総合計画基本構想の概要

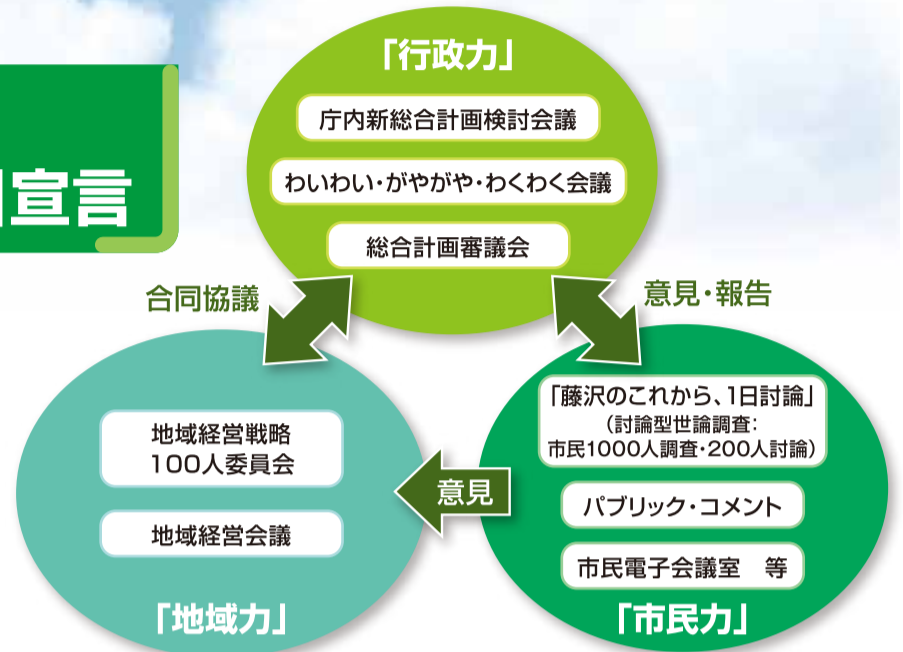
## 地域経営、市民主体のまちづくりへ

藤沢市新総合計画の基本構想は、私たちが地域経営会議や地域経営戦略100人委員会など「市民力」「地域力」「行政力」を結集しながら、私たちが藤沢で暮らすことに誇りを持てる20年後のまちの将来像などについて、討論型世論調査「藤沢のこれから、1日討論」やパブリックコメントを踏まえ、総合計画審議会が審議を行い、市長に答申し、市議会の議決を経て、藤沢市が策定したものです。

### 市民、地域と行政がつくる 新たな仕組みである「私たちの政府」宣言

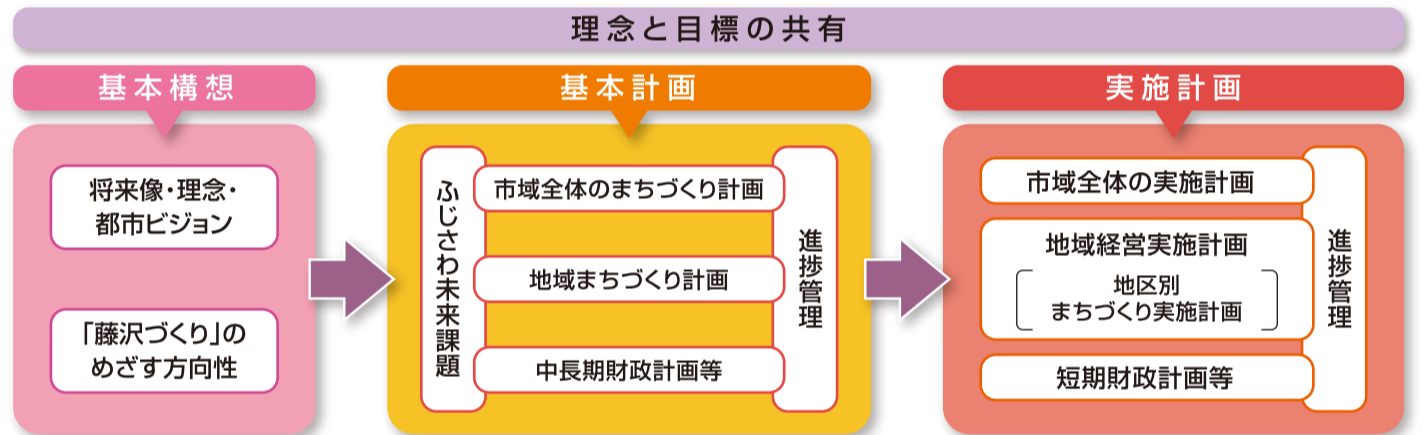
藤沢の市民自治の歴史や、地方分権の潮流をチャンスととらえて、市民、地域と行政が手を携えて課題に立ち向かう新たな仕組みを築いていくことが私たちに課せられた課題です。この仕組みを「私たちの政府」と呼び、そこから市民主体のまちづくりと私たち自身の力で進めていく努力によって、豊かで暮らしやすく、持続可能な夢とロマンが持てる「藤沢づくり」をすすめていきます。

そして、子や孫やさらにその将来の世代まで「藤沢に住み続けたい」と思えるまちを、市民、地域と行政でつくりあげていくことをめざしていきます。



### 新総合計画の 枠組み

新総合計画は、未来に向けた構想(基本構想)、土台として共通の目標となる計画(基本計画)、実践するための手順を示す計画(実施計画)によって構成します。



### 基本構想

新総合計画基本構想では、藤沢の将来像と将来像を実現するための姿(都市ビジョン)、都市ビジョンの達成に向けた活動の方向性(「藤沢づくり\*」のめざす方向性)を掲げています。この活動の主体は、市民、地域と行政であり、生活者の実感で藤沢づくりをめざしていきます。また、活動の進め方の大きな柱として「地域経営\*」「市民主体のまちづくり」を位置づけています。

- 1 市民の力が育てる生活充実都市
- 2 地域から地球に広がる環境行動都市
- 3 さらなる可能性を追求する創造発信都市

藤沢の  
都市ビジョン

### 将来像

「私たちの政府」が創る、いまでも未来も  
住み続けたいまち「湘南ふじさわ」

- 1 地域経営による持続的な市民主体の「藤沢づくり」を実現します
- 2 市民と創る「自律するまち」の行政システムを構築します
- 3 協働して広域連携を展開します

3つの  
基本理念

### 「藤沢づくり」の めざす方向性

- 1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち
- 2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境
- 3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち
- 4 共に生き、共に創る地域社会の創出
- 5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展
- 6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資
- 7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生
- 8 公共資産の維持管理と有効活用
- 9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

\*「藤沢づくり」…藤沢独自の仕組みと取り組みで進める市全体のまちづくりを表す言葉で、これまでの一般的な「まちづくり」という言葉に代わって使っています。市全体のまちづくりなので、その主体は原則として「市民、地域と行政」という表現にしています。  
\*「地域経営」…「地域市民」、コミュニティと行政が、それぞれ自律して行動し、お互いに協働・共創しながら、各地区や市全体の暮らしやすさと豊かさの向上をめざして、まちの経営を進めることです。

### 今後の取り組みについて

基本計画の策定に当たり、生活者の実感から乗り越えるべきテーマを選定するため、未来課題への「気づき」の収集を行いました。今後、このテーマの中から重点となるテーマを選ぶためのアンケートを実施しますので、ご協力をお願いします。